

# 2008年サミットを「関西」で

関西では、京阪神の三都が連携し、全国に先駆けて「2008年関西サミット誘致委員会」を昨年4月に設立し、二度にわたる国への要望活動を実施するなど、日本で5回目となるサミットの関西開催に向けた活動を活発に進めている。

日本で開かれる2008年の主要国首脳会議(サミット)まであと2年余り。誘致委員会および京阪神三都におけるサミット開催に向けた取り組みを紹介する。



## サミットとは

日本、米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシア8カ国の首脳およびEU(欧州連合)の委員長が参加して毎年開催されるG8サミット。狭義のサミットは首脳会合を意味するが、首脳会合の前に開催される外相会合と蔵相会合を含めた全体をサミットと呼んでいる。

日本国内でのサミット開催は過去4回。1979、86、93年はいずれも東京で開催された。2000年サミットの候補地には、札幌、千葉、横浜、大阪、広島、福岡、宮崎、沖縄の8都市が名乗り

をあげたが、1999年4月29日、小渕首相の判断により、首脳会合を沖縄、外相会合を宮崎、蔵相会合を福岡で開催することが決まった。

ちなみに、日本以外の開催国の場合、米国・シーアイランド(2004年)、英国・グレンイーグルズ(05年)、ロシア・サンクトペテルブルク(06年：予定)など、首都以外での開催が一般的。

次回2008年サミットの場合、06年秋ごろに外務省が候補都市を訪問し、会議場や宿泊施設、警備、交通の便などを調査。07年春ごろ、ドイツで開催されるサミットに出席する首相が開催地を決定する見通しだ。

## 2008年関西サミット誘致委員会

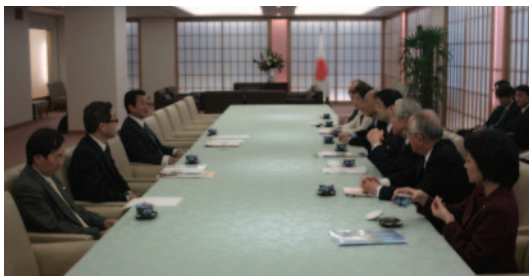
2005年4月13日、京都・大阪・兵庫の3府県、京阪神の3政令市と3商工会議所、および関経連の計10団体代表が集まり、2008年サミットの開催誘致について協議がなされた。その結果、「2008年関西サミット誘致委員会」（以下、誘致委員会）の立ち上げについて合意するとともに、首脳会合については京都または大阪、関係閣僚会合（外相会議および蔵相会議）については、首脳会合開催地以外の京都、大阪、神戸いずれかの都市で開催されるよう、関西が一丸となって取り組むことを申し合わせた。

5月11日には秋山関経連会長（誘致委員会会長）、3府県知事（同副会長）はじめ誘致委員会の代表が細田官房長官、町村外務大臣、谷垣財務大臣、漆間警察庁長官ほかを訪ね、全国に先駆け、2008年サミットの関西誘致の意向を表明した。

6月には関西2府7県と3政令市、経済団体などで構成される「関西広域連携協議会」と関西2府7県知事による「近畿ブロック知事会」がそれぞれ、サミット誘致に関する特別決議と共同提言を採択するなど、関西を挙げてのサミット誘致の実現と成功に向けての支援が打ち出されている。

10月14日開催の第2回「誘致委員会」では、京阪神三都でそれぞれ検討がなされてきたサミットの実施案について報告が行われるとともに、関西全体の魅力をアピールする関西開催プランの作成や今後の誘致活動について意見交換がなされた。

12月21日には、秋山会長、3府県知事はじめ誘致委員会の代表が2回目の要望活動を実施した。安倍官房長官、麻生外務大臣、谷垣財務大臣ほかを訪ね、サミット候補地としての関西の魅力や地元の熱意を強くアピールした。



## 関西サミットの魅力、アピール点とは

誘致委員会が05年12月の要望に合わせて制作した「三都三味<sup>さんとうさんまい</sup>」と題する関西サミット開催プランでは、関西の魅力や三都の施設利用計画などを紹介している。では、関西の魅力とは何か。

まず、関西が日本の歴史・文化の原点であること。地球規模の課題解決に向けたサミットの討議に彩りを添え、白熱した議論の中にも心やすらぐ、対話の場を提供できる。

次に、三都の充実した都市環境と万全な警備環境。05年4月に開館した京都迎賓館を含む国際会議施設や第一級の宿泊施設に加え、06年2月には神戸空港が開港。サミット前年の07年には関西国際空港の第2滑走路が供用開始される。また、三都はAPEC大阪会議(1995年)、地球温暖化防止京都会議(97年)、国連防災世界兵庫会議(2005年)をはじめ、万全な警備環境を含め、多くの国際会議を成功に導いてきた実績を有する。

そして京阪神三都の連携。3つの候補都市を有するのは関西だけ。誘致委員会では、サミット開催地がいずれに決まっても、三都が連携してその成功に協力することで合意している。今後、三都はよりよい開催プランの作成に向け競い合いながら、関西サミットの実現に向け、連携を一層強化していくこととしている。

2006年1月末現在、正式にサミット誘致を表明しているのは関西のほかでは、05年7月に誘致推進協議会を立ち上げた横浜。今後、新たな都市の誘致表明も予想され、ホットな誘致活動が繰り広げられる。関西にとっては、国の動きや他都市の動向も勘案しつつ、本年秋の現地調査までに首脳会合開催地の一本化に向けた検討を行うことが当面の課題である。



上：国立京都国際会館  
下：京都迎賓館

## ～京都開催案～

# 美しい自然に囲まれた静寂の中でサミットを

### アピールポイントは「環境と文化」

京都の開催プランの基本コンセプトは「美しい自然と心安らぐ文化が豊かな対話を誘う京都でサミットを」。首脳会合などの候補会場である国立京都国際会館、歓迎晩さん会の候補会場で、2005年4月に開館したばかりの京都迎賓館という2つの国の施設はいずれも自然に囲まれた静寂な雰囲気、心と心対話の場や「日本」を感じてもらえる環境を提供できる。世界文化遺産や多くの国宝・重要文化財を有する京都にはこの2施設以外にも、二条城、平安神宮、本願寺(西本願寺)など歴史や文化の重みを味わいながら、心安らぐサミット行事や歓迎レセプションを演出できる場所が多数ある。

### 会場間はコンパクトな移動でOK

国立京都国際会館と京都迎賓館は車列な

ら約8分で移動可能。警護についても、京都にはこれまでも多くの国際会議や外国からの賓客を受け入れた実績があり、関係機関が一体となって万全の準備体制で臨む。また、会場の候補にあがっている主要会議施設は住宅地や一般道路と別のエリアに位置しており、警備しやすいという利点もある。

### 京都の「おもてなし」の心を伝えるプログラムの数々

この絶好の機会に各国首脳や会議参加者、プレス関係者などに日本のすばらしさを感じてもらえるよう、歓迎行事や関連プログラム、滞在中のサービスなど、京都ならではの「おもてなし」の心が伝わるプランを用意。例えば、京都の文化芸術を楽しむよう、歓迎行事には茶会やいけばな、京舞の披露、配偶者プログラムには、離宮や世界文化遺産の視察、西陣織や清水焼などのものづくり体験などをラインナップ。また、エクスカーションでは、知的集積地という京都の別の顔も見てもらえるよう、京都に本社を置く、世界トップクラスの技術を誇るハイテク企業や関西文化学術研究都市、桂イノベーションパークなどの視察もプログラム案に入れている。

地元の受け入れ態勢にも万全を期す。京都府・京都市・経済団体等が一体となった協力体制を整えるとともに、市民や大学生、外国人留学生からなるボランティアを組織。語学ボランティアや文化ボランティアとして会議のサポートを行う。また、サミット関係者やプレスに京都滞在を満喫してもらうため、携帯電話で外国語の観光情報・経路案内が受けられる「観光サポート・モデルシステム」の活用や社寺仏閣の見学等に特典のある「おこしやすパスポート」の発行を検討している。

## 環境と文化を京都から

日本でサミットが開催される2008年には北京五輪が開催され、アジアに世界の注目が集まります。また、ポスト京都議定書に向け地球温暖化の問題がクローズアップされる中、日本の心や独自性をさまざまな形で発信でき、環境問題にも明確な主張を持つ関西こそが、サミット開催地に適しているものと思います。

特に、日本文化の粋が集まり、京都議定書採択の地である京都には、「京都迎賓館」と「国立京都国際会館」という最高のサミットを演出する舞台と、自然と共生してきた文化や、府民・市民のもてなしの心があり、それらを生かしたサミットは、国際社会に日本の存在を強く印象づ

けることができます。

東京への一極集中が進む中、奥深い文化を持ち、豊かな国際性をも兼ね備えた関西、そして京都の力を改めて示すことが、日本の発展に不可欠であります。今後とも、大阪や兵庫とも連携し、関西サミットの実現に向けて取り組んでまいります。



京都府知事 山田 啓二氏

～大阪開催案～

## 大阪の都心、中之島でサミットを実現

アクセスの良さには自信あり

大阪は「万全なセキュリティ」「最高の施設」「多彩な魅力と住民の協力」「アジアとの交流」を開催コンセプトに掲げ、「大阪の人々とともに迎える『安全・快適なサミット』—中之島で日本に出会う(Meet JAPAN in Nakanoshima)—」をめざす。サミット開催を想定してつくられた大阪国際会議場や、大阪市中央公会堂がある大阪の都心、中之島でサミットを開催するプランを作成した。

大阪の一番のウリはなんといってもその利便性。政府専用機が乗り入れ可能な関西国際空港(関空)から大阪市内への移動は専用ヘリコプターなら所要時間わずか10分。車を使っても約30分で移動可能。また、高速道路網や鉄道網の結節点である大阪からは京都、兵庫、奈良、和歌山などへの移動も容易で、各地にある世界遺産や国立公園など多彩な自然や文化の魅力を満喫できるエクスカージョンも提案できる。

各国首脳やたくさんの関係者が来日するサミットでは上質の宿泊施設が多数必要になる。その点、大阪には国公賓の受け入れノウハウを有する第一級のホテルが数多くあり、万全。その上、主要12ホテルはすべて高速道路の出口から3分以内の立地と交通至便。これらのホテルのスイートルームは合計333室、100m<sup>2</sup>以上の部屋も69室と質・量ともに整っている。

### 中之島は万全のセキュリティ体制

首脳会合の候補会場、大阪国際会議場などが立地する中之島の万全のセキュリティも大きな魅力。中之島は都心にありながらも周囲を川に囲まれており、セキュリティの確保が容易。中之島とその周辺には合計9カ所のヘリポートがあり、各国首脳も安

全に移動できる。加えて超一級の医療機関も集積しており、万が一の要人の急変に対しても万全の体制が整っている。

さらに、大阪にはサミット関係諸国すべての総領事館を含む18の主要国総領事館が立地している。各国は事前調査や警備上の安全確認を効率的、効果的に行える。

### 大阪ならではの活気あふれるもてなしを

関連プログラムには大阪人の陽気さと活気あふれるプログラムを用意。アジアとの交流拠点である大阪の歴史を知ってもらう史跡観光、大阪ゆかりの文楽などの古典芸能の鑑賞。そのほか、現代の大阪が取り組むロボットなどの最先端技術の産業観光、水の都大阪を実感してもらえらる水都観光のプログラムなどを提案している。



上：大阪国際会議場  
下：大阪市中央公会堂

### 中之島で日本と出会う

大阪は、万全なセキュリティや最高の施設など「安全・快適なサミット」の開催とともに、「中之島で日本と出会う—Meet JAPAN in Nakanoshima—」をキャッチフレーズに、中之島にある美術館や博物館などの施設を活用し、大阪・日本の歴史、文化や先端技術など、多彩な魅力をG8首脳やサミット参加者の方々にご紹介することを提案しています。

サミットには、それぞれの国や都市の歴史、文化などに触れていただき、国際理解を促進するという趣旨があります。関西は日本の歴史・文化の原点であり、とりわけ大阪は、難波宮以来、1400年の歴史を有し、いにしえ

より、海外に開かれた都市として発展してきました。この長い歴史に培われた魅力ある大阪で、首脳をあたたくお迎えできることを期待しています。

今後とも、誘致委員会の下、まず、関西へのサミット誘致が実現するよう全力で取り組んでまいりますので、ご理解・ご支援をお願いします。



大阪府知事 太田 房江氏



## ～兵庫・神戸開催案～ 安全・快適な「アイランド・サミット」を

### 兵庫・神戸には関係閣僚会合を



上：国際会議の様子  
下：兵庫県公館

京都や大阪が首脳会合の誘致をめざしているのに対し、兵庫・神戸は関係閣僚会合の開催をめざしている。国際都市・神戸の魅力を生かすサミットにしようと、「日本の近代化の先駆け、兵庫・神戸で安全・快適な『アイランド・サミット』を」をコンセプトとしたプランを提案している。

サミットが開かれる2008年は神戸港開港140周年という記念すべき年でもある。今も昔も海・空の港を中心に人々の交流の拠点として発展する神戸。その象徴でもある海上文化都市、ポートアイランドに位置する神戸国際会議場やポートピアホテルが関係閣僚会議の候補会場となっている。

### ポートアイランドは抜群の立地

一大コンベンションゾーンを形成するポ

ートアイランドは陸海空のアクセスも良く、海に囲まれた立地により万全の警備体制で「安全・快適」なサミットを実現できる。交通アクセスについては、関空から、陸路なら阪神高速湾岸線で約1時間、市街地を通らずにコンベンション会場へと向かえる。チャーター船でダイレクトに島へ向かうことや専用ヘリコプターの利用も可能。また、今年2月に開港した神戸空港は島の目の前。各国専用機がコンベンションアイランドに横付けできるイメージだ。

島の内部に目を向けると、会議、レセプション、宿泊などすべての会議関連施設が徒歩圏内に集中。それぞれの施設は回廊などで有機的に結ばれており、利便性は高い。

さらに特筆すべきは、警備のしやすさ。ポートアイランドは海に囲まれた人工島であるため、封鎖が可能で、万全の警備体制を敷くことができる。

『ボランティア元年』と言われた1995年の阪神・淡路大震災以来、ボランティアに関心が高い住民や企業の協力体制にも期待できる。これまでの実績を生かし、県民・市民やNPO、企業などとの協働により開かれたサミットの実現をめざす。

### 関連プログラムには国際都市・神戸の魅力あふれる多彩な企画を用意

神戸ではその国際性を存分に感じさせる、多彩で充実したエクスクーションや配偶者プログラムの提案が可能。北野・異人館街や世界文化遺産の姫路城などの観光資源のほか、阪神・淡路大震災の経験をふまえた国際的な防災・減災の拠点「人と防災未来センター」、世界から研究者が集まる播磨科学公園都市の「SPring-8」など、テーマに応じたさまざまなプランを提供できる。

## 「関西の元気」を世界に示そう

昨年11月、山田知事、太田知事とともに北京を訪問し、合同で関西の観光プロモーションを行いました。それぞれに個性豊かな3府県がつくる関西ならではの魅力を大いにアピールしてきました。

関西サミットは、3府県の持ち味を生かし、関西の歴史や伝統はもちろん、経済力や文化力など、「関西の元気」を世界に示す絶好の機会です。

兵庫県からは、震災の経験と教訓をふまえた国際協力、そして多文化共生を先導する国際都市神戸の魅力の世界に発信していきたいと考えています。交通アクセスにすぐれ、万全のセキュリティを誇る海上都市ポートアイランドを舞台に、安全で快

適な「アイランド・サミット」をめざします。

サミット実現には、何よりもまず地元関西の熱い思いを内外にアピールしていかなければなりません。行政・経済界の連携を密にし、関西一丸となってサミット誘致に取り組んでいこうではありませんか。



兵庫県知事 井戸 敏三氏

## 府県開催プラン一覧

		項 目	提 案 内 容
首 都 府	京 都	コ ン セ ブ ト 会 議 場	美しい自然と心安らぐ文化が豊かな対話を誘う京都でサミットを 国立京都国際会館、京都迎賓館、社寺・仏閣(大徳寺、西本願寺)
		日 本 側 主 催 タ 食 会 ・ 歓 迎 レ セ プ シ ョ ン	京都迎賓館、二条城、平安神宮
		プ レ ス セ ン タ ー 記 念 撮 影	国立京都国際会館イベントホール 国立京都国際会館、京都迎賓館
		主 要 宿 泊 施 設	スイートルーム：10ホテル157室(うち100m <sup>2</sup> 以上20室) その他市内の主なホテル・旅館：654カ所22,720室
		エ ク ス カ ー シ ョ ン プ ラ ン	京都の雅や世界に誇る文化遺産に触れていただくコースや、一流の文化芸術 に触れ、日本への理解を深めていただく体験型のコースなど。
		ア ク セ ス	関西国際空港から：車列で70分、ヘリで20分 大阪国際空港から：車列で55分、ヘリで10分
		サミット誘致に関するホームページURL	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/kokusai/summit/index.html">http://www.pref.kyoto.jp/kokusai/summit/index.html</a>
		会 合	大 阪
日 本 側 主 催 タ 食 会 ・ 歓 迎 レ セ プ シ ョ ン	大阪市中央公会堂、大阪迎賓館		
プ レ ス セ ン タ ー 記 念 撮 影	大阪城ホール 大阪市中央公会堂または大阪城西の丸庭園(大阪迎賓館)		
主 要 宿 泊 施 設	スイートルーム：12ホテル333室(うち100m <sup>2</sup> 以上69室) その他市内の主なホテル・旅館：200カ所35,074室		
エ ク ス カ ー シ ョ ン プ ラ ン	アジアとの交流拠点など大阪の史跡観光、文楽をはじめとする古典芸能の 鑑賞、ロボットなど最先端技術などの産業観光、水都観光など。		
ア ク セ ス	関西国際空港から：車列で40分、ヘリで10分 大阪国際空港から：車列で15分、ヘリで5分		
サミット誘致に関するホームページURL	<a href="http://www.pref.osaka.jp/kokusai/summit/index.html">http://www.pref.osaka.jp/kokusai/summit/index.html</a>		
関 係 閣 僚 会 合	兵 庫 ・ 神 戸		
		日 本 側 主 催 タ 食 会 ・ 歓 迎 レ セ プ シ ョ ン	兵庫県公館、ホテルオークラ
		プ レ ス セ ン タ ー 記 念 撮 影	神戸国際展示場 兵庫県公館
		主 要 宿 泊 施 設	スイートルーム：7ホテル117室(100m <sup>2</sup> 以上21室) その他市内の主なホテル・旅館：72カ所8,300室
		エ ク ス カ ー シ ョ ン プ ラ ン	北野・異人館街をはじめとする国際都市・神戸の魅力あふれる観光資源の ほか、防災や環境分野での国際協力の拠点施設など。
		ア ク セ ス	関西国際空港から：車列で50分、高速艇で20分、ヘリで20分 神戸空港から：車列で3分
		サミット誘致に関するホームページURL	<a href="http://web.pref.hyogo.jp/kokusai/summit/index.htm">http://web.pref.hyogo.jp/kokusai/summit/index.htm</a>

サミット  
豆知識

## 〈サミットのはじまり〉

1970年代に入り、ニクソン・ショック(ドルの切り下げ)や第1次石油危機などの諸課題に直面した先進国から世界経済問題に対する政策協調について首脳レベルで総合的に議論する場が必要との認識が生まれ、ジスカール・デスタン仏大統領(当時)の提案により、1975年11月、パリ郊外のランブイエ城において日、米、英、仏、独、伊の6カ国による第1回首脳会議が開催された。

## 〈サミットが恒例化した経緯〉

第1回首脳会議の結果、世界経済問題に対応するために先進国の首脳が集まり議論する場を持つことの重要性が認識され、各国が持ち回りで議長国を務めつつ、毎年首脳が集まって会合を持つことになった。

## 〈サミットの特徴〉

サミットでは、世界経済の諸問題のほかにその時々の世界情勢などの政治問題、さらには環境、麻薬、テロ、エイズ等感染症などの地球規模の社会問題など、幅広い課題について首脳が一つのテーブルを囲みながら、非公式かつ自由闊達(かつたつ)な意見交換を通じてコンセンサスを形成し、トップダウンで物事を決定し、その成果が宣言としてまとめられる。

## 〈議長国の任期と役割〉

サミット開催国が、開催年の1～12月の1年間、サミット議長国となる。議長国は、サミット開催に向けた事前の準備会合や実際の首脳会合、外相会合、蔵相会合の開催のための諸準備および議事進行を行う。

\*外務省公表資料より作成